

令和7年度海外渡航に係るコーディネート委託業務
評価基準（プロポーザル方式）

審査項目	審査の視点	配点
事業目的と理解度	・ 事業目的を的確かつ適切に捉えた提案となっているか。	20
企画の内容	・ 訪問先（アメリカ、ブラジル、オーストリア）の現地事情を踏まえ、現実的かつ効果的な提案となっているか。 ・ 独自の視点や創意工夫があるか。	20
実施体制の適格性	・ 実施体制が明確であるか。 ・ 業務実行可能で適切な計画になっているか。 ・ 現地支店や日本語対応等を含む遂行体制が確保されているか。 ・ 不測の事態（フライト変更、政情不安等）への対応フローやサポート体制があるか。	30
同種業務の実績	・ 同種または類似業務に関する実績があり、確実な履行能力があると判断できるか。	20
経費の妥当性	・ 具体的かつ明瞭であり、業務内容に対して適正な金額となっているか。	10
合計		100

※最低基準点は5割とする。（100点×50％＝50点）

※最優秀提案者となるべき評価点の最も高い者が2者以上あるときは、審査会の会長が最優秀提案者を選定する。